

## ながたクリニックの感染対策対応変遷

2008年10月石川県加賀市開業。前任地での感染対策や感染症診療の知識と経験をいかして、当初から個室を2部屋を作り、円の動線を意識し、クリニックを設計。グラム染色用顕微鏡や専用シンクを配置し、供覧できるモニターなどわかりやすい説明や結果を画面で見せる、疾患説明用紙の作成などを重点におく。

【発熱専門外来】 【慢性咳嗽専門外来】 など開業当時から開設。

2009年新型インフルエンザパンデミックの経験から、近い将来、必ず来るであろう強毒型新型インフルエンザパンデミックの備えてクリニックの駐車場2台分をつぶして、通常の入り口と異なる、個室棟を増築建設。

2019年8月、それまでの経験や実績から、満を持して、クリニックの標榜科を変更。

2020～2021年新型コロナウイルスパンデミック。発熱等風邪症状のある患者の受け入れ拒否をする医療機関が増え、問題に・・・。

県内で真っ先に【発熱等検査風邪診療専門外来】に手を挙げ、PCR検査だけでなく、感染症診療を乳幼児～成人～高齢者すべてに対応。

2020年5月、個室での診察検査対応の感染対策のために移動式衝立ボードを設計、作成し、個室棟での各部屋での感染症診療や検査対応をより相互に感染リスクを下げつつ、診療可能に。

2020年7月、全国に新型コロナウイルスが拡大するに連れ、慢性疾患などの持病を持つ患者さんが、医療機関へ受診することが不安になり、受診控えが問題となる。

それまでも風邪症状がある方、職場や同居家族内で風邪症状のある方は、通常の待合室に入らず、すべて車待機や個室待機としていたが、不安の強い患者さんが安心して受診できるように院内に入らずに専用窓口で外から簡易診察が出来、処方箋を受け取ることができる【ウォークスルー外来】を開設。院長が設計し、業者に依頼にて作成。

2021年2月中旬、1人でも1つでも多くの医師をはじめとした医療従事者や医療機関が正しく恐れつつ、発熱等検査風邪診療に対応できる仲間が増えることを願い、2006年から院長が個人で運営している感染症予備校である【感染症倶楽部】の第16期としてWEB配信による講演会を開催。全国より900名の参加視聴となる。

2021年2月下旬、ながたクリニックに1人目のコロナ後遺症（遷延性症状）の患者が受診。

少しずつ患者数が増え、多くの医療機関で対応困難にて受診拒否のため【迷子】となっている現状に気づき、同年4月にクリニックのホームページに【ポストコロ外来（後遺症/遷延性症状外来）】を掲示。

2021年3月05日、医療従事者向けの書籍を上梓。感染症診療を正しく診療できる医師をはじめとした医療従事者が1人でも増えることを目的に風邪やインフルエンザ、COVID-19、中耳炎/鼻副鼻腔炎/咽頭扁桃炎/肺炎やその周囲の外来感染症全般や漢方薬も含めた薬や検査なども網羅した内容を単著で執筆。

「Phaseで見極める！小児と成人の風邪の診かた&治しかた」

2021年8～9月、第6波により石川県、北陸3県でもこれまでにない感染者が増えてくることにより、PCR検査を必要とする患者が一気に増加したことを受け、一般駐車場とは異なる、スタッフ用の裏側の駐車場を1台分空けて、その近くに事前に電話問診等で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）である可能性があるかと判断した患者さんが簡易診察とともにPCR検査がすぐ外から検査専用窓口で受けられる【シルバースルー外来（窓口）】を開設。

2021年9月～11月、第5波によりコロナ後遺症（遷延性症状）の患者が急増、北陸3県のみならず全国から受診者が増える。

2022年、一般向けの風邪をはじめとした薬や検査、診断、消毒、感染管理などの書籍を執筆中。

2022年02月、第17期感染症倶楽部 on WEB 開催予定（COVID-19後遺症診療/治療）

2006年～：感染症倶楽部シリーズ 統括代表

2013年～2020年：加賀市医療センター 感染制御/抗菌薬適正使用指導顧問医

2019年～：加賀市医療センター研修医抗菌薬レクチャー指導医